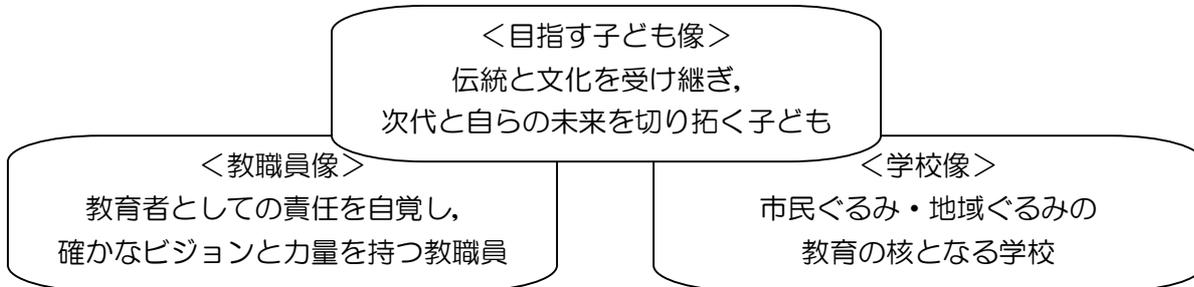


平成 27 年度 学校教育目標・経営方針

京都市立稲荷小学校

校長 大野 利和

平成 27 年度「学校教育の重点」



本校の目指す教育

I 学校教育目標

いきいき なかよく りそうに向かって 考動する子

II めざす子ども像

い な り	「いきいき」	○心も体も元気な子
	「なかよく」	○命ときまりを守りきる子
	「りそうに向かって」	○目標をもって自ら学び続ける子
	「いなり」	○学校・地域を愛する子

◎「考動する」…「考えて行動する」

III 学校教育の基本指針

1 「豊かな心」【徳】

子どもが、「美しいものや自然に感動する心などの柔らかな感性」、「正義感や公正さを重んじる心」、「生命を大切にし、人権を尊重する心」、「他者を思いやる心や社会貢献の精神」、「自立心、自己抑制力、責任感、他者との共生や異なるものへの寛容等の感性」、「道徳的価値を大切にする心」等を身に付ける。

- (1) 道徳教育の充実
- (2) 豊かな感性・情操を育む教育の充実
- (3) 規範意識・社会性の育成
- (4) 支え合い高め合う集団づくりの推進と絆づくり
- (5) 多文化共生教育の充実

2 「確かな学力」【知】

子どもが基礎的・基本的な知識・技能はもとより、「習得した知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力」、さらには、「学ぼうとする意欲（学ぶ喜び・目的意識・課題意識・将来展望等）」、「生涯にわたって学び続ける力（学び方を身に付ける・問題解決能力・自己教育力等）」等を身に付ける。

- (1) 普通授業の充実「学習課題（めあて・目標）」提示と「まとめ・振り返り」の徹底
- (2) 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用
- (3) 問題解決的な学習や探究活動の充実
- (4) 言語活動の充実
- (5) グローバル化時代における実践的な英語力の育成
- (6) 理数教育の充実
- (7) LD等支援の必要な子どもの学力向上

3 「健やかな体」【体】

子どもが、遊びや運動、スポーツ及び望ましい生活習慣の実践を通して、「自らの健康や安全を管理し、生活を改善する力」、「心身の健康を維持し、たくましく生きるための体力」、「意欲や気力といった精神面の充実を伴って、毎日を明るく生き生きと生活できる力」等を身に付ける。

- (1) 運動やスポーツの実践と体力の向上
- (2) 保健教育の充実
- (3) 食に関する指導の推進
- (4) 安全教育の充実
- (5) 防災教育・防災管理の充実

4 「地域ぐるみの学校」【地域】

開かれた学校づくりと地域ぐるみの教育の核となる。

- (1) 地域の人・素材の教材化
- (2) 地域行事への参加
- (3) 学校運営協議会を核とした地域ぐるみの教育を推進

IV 魅力ある開かれた学校を創る

一人ひとりの子どもが明確な目標をもち、粘り強く追究していく中で、充実感をもち、自己実現を図り、個として生き生きと輝く学校を創る。また、一人ひとりのもつ可能性をいろいろな場で表現する、挑戦することにより、感動する心をもたせる教育活動を進め、すべての子どもたちに自信と笑顔が見られ、保護者・地域の方に信頼される「オンリーワン」の魅力ある開かれた学校を創る。

1 子どもが魅力を感じる学校

- ・すべての子どもが個として、生き生きと輝く姿の学校
- ・日々意識して「学校が楽しい」と思える学校
- ・すべての教育活動の中で、一人ひとりの子どもが大切にされている学校
- ・自分達の学校を誇りに思い、所属感を満たす学校

2 保護者・地域が魅力を感じる学校

- ・「子どもの姿」「子どもとの対応」を媒体として、満足できる学校
- ・安心感、信頼感のもてる学校
- ・教育活動に魅力を感じる学校
- ・家庭・地域との連携のもと、お互いが有機的に機能し、共に高め合う学校

3 教職員が魅力を感じる学校

- ・全教職員が子どもと共に生き生きと活動し、創造的で特色ある学校
- ・学校・保護者・地域がスクラムを組み、教育に熱中できる学校
- ・個々の仕事の成果が見え、「やりがい」が感じられる学校
- ・稲荷のまちをホームグラウンドとし、相互に高め合え、支え合える学校
- ・個々の特性・専門性が活かされる学校

V 具体的な取組

1 「確かな学力」

- ・さわやかタイム(8:40~8:50)
算数科基礎学力定着のための計算練習
- ・こんこんタイム(13:40~13:50)
国語科基礎学力定着のための読書，視写，暗唱，漢字練習
月・水・金…読書
火・木…詩の視写，暗唱，漢字練習
- ・補充学習
火曜日の放課後(3:30~4:00)各学年
- ・普通授業の充実（子ども主体の問題解決的な学習）
学習規律の徹底（話すこと・聞くこと・書くこと，ルールなど）
めあてと振り返りを位置付けた授業
思考・判断・表現する力の育成を図る言語活動の充実
協力指導（2学年合同学習，交換授業，七年による授業の入り込み，TT・少人数授業）
- ・支援を必要とする子どもに対する個別指導
総合育成支援員，総合育成支援ボランティア，教務
- ・家庭学習の重視
漢字・計算・音読・自学自習（自主学习）

2 「豊かな心」

- ・3つの「あ」「あいさつ・あんぜん・あとしまつ」の徹底 児童会を中心に
- ・言葉遣い「さん」で呼ぶ，子どもの悪い言葉遣いはその場で正す。
- ・学校・社会の決まりを守る態度の育成（ルール・マナー・モラル・エチケット）
- ・たてわり活動 年度当初にたてわりを組み，様々な機会に取り組む。
全校遠足・なかまの日・たてわり大会（かるた大会・なわとび大会など）
- ・対外的な活動に参加する。
部活動の対外試合，学童音楽会（5・6年），陸上記録会等（6年）
- ・保小・小小・小中連携 稲荷保育園・深草小学校・深草中学校との合同の取組

3 「健やかな体」

- ・朝ランニングの徹底(8:30~8:35)
- ・歯磨き指導・フッ化物洗口
- ・「食」に関する指導
- ・性に関する指導・感染症に関する指導・薬物乱用防止の指導

4 「地域ぐるみの学校」

- ・生活科，社会科，生活単元学習，総合的な学習での地域との連携
- ・PTA，地域行事への積極的な参加の呼び掛け
- ・学校運営協議会の充実
- ・稲荷小学校創立100周年記念事業実行委員会との連携